

## 会 議 要 旨

会 議 名 ( 審 議 会 等 )	令和5年度 第5回南あわじ市社会教育委員会	
事 務 局 ( 担 当 課 )	南あわじ市教育委員会 社会教育課	
開 催 日 時	令和5年11月2日(木) 14時00分～16時00分	
開 催 場 所	南あわじ市役所 304・305 会議室	
出席者	委 員	西島敏子、松尾美和、鎌谷安、松下良卓、関口功、奈良昭彦 坂本頼保、中田勝之
	事 務 局	山家光泰(社会教育課長) 西野実希(社会教育課社会教育主事)
	そ の 他	郷野仁史(中央公民館館長) 宮本史加(社会教育課会計年度任用職員) ※記録
会 議 次 第	1, 開 会 2, 報告事項 3, 議 事 (1) 南あわじ市における公民館及び図書館のあり方について(諮問) 4, 今後の予定について 5, その他 6, 閉 会	
議 事 要 旨	別紙のとおり	

## 第5回南あわじ市社会教育委員会 議事要旨

### ○ 議 事

#### (1) 南あわじ市における公民館及び図書館のあり方について（諮問）

- ・社会教育課長及び中央公民館長が組織再編及び運営内容改正の説明等を行った。

### ○ 委員からの意見（要旨）

#### 【公民館について】

- ・中央公民館の機能をソフト面で残し続け、合併当時の旧4町それぞれの公民館がばらばらで活動していたような状況に戻らないようにすること。
- ・21地区に格差がでないようにすることや、市のプランに沿って共通に認識を持って運用できるように引っ張っていくのが中央公民館の目的。南あわじ市民全員に対する社会教育の場としての器の機能を保ったまま、役割を意識して独立した形で動けるような体制をつくるべき。
- ・公民館運営審議会がさまざまな課題に具体的に対応できるような組織になること。
- ・各地区公民館は行政サービスと公民館の機能を兼ねた組織になっており、予算も行政サービス（地域づくり）のほうが多く置かれている。しかし公民館長は社会教育のための館長であり、社会教育への知識を持ち、地域に対しての社会教育を考える意識がないといけない。市民交流センターとしてではなく公民館としての役割を考え、行政の施設にならないように堅持していけるようなリーダーシップが必要。
- ・中央公民館で行っている公民館講座を三原だけでなく、西淡、南淡、緑にもまわしていけばいいと思う。現在受講している人への説明や配慮はしていくこと。

#### 【図書館について】

- ・中央公民館図書室を南あわじ市図書館三原分館とする1館1分館へ再編すること、休館日の再編と貸出冊数の上限の変更することについては、市民サービスの向上につながる取り組みであるため方針案のとおり進めていただきたい。
- ・学生が勉強できる場所にしてほしい。勉強させないという雰囲気が出ると若い年代の利用者は増えない。
- ・「本を借りる場所」ということだけにこだわらず、さまざまな年代の方の居場所としての図書館のあり方を考えてほしい。地の利を活かしてもっと大勢の人が利用できるようにするのが好ましい。
- ・賀集小学校を改修工事したときに図書室を隅の静かなところから2階の真ん中に移動させたら利用者が増えた。立地条件というのは非常に影響が大きい。教室にいられない児童の居場所にもなっている。居場所としての図書館も大事と考えてる。
- ・明石駅前の図書館など他市では図書館にお金をかけて利便性の向上などを図っている。分館化して室から館へ昇格するのであれば個室スペースを作るなどお金をかけてハード面を強化していくべき。